

# 神辺駅周辺のにぎわい創出協議会

## 説明資料

2025年(令和7年)2月27日10時00分～

かんなべ市民交流センター 1階 体育館会議室

福山市 市民局 神辺支所 神辺地域振興課・神辺建設産業課

- 1.これまでの流れ
- 2.ビジョン説明
- 3.報告事項  
その他の取組について

# これまでの流れ

## 神辺駅周辺のにぎわい創出協議会とかんなべ未来会議の開催状況

### 第1回協議会 2024.7.4

議題：趣旨説明、意見交換  
(神辺の長所・短所、神辺駅周辺の範囲、  
めざすにぎわい、大切にしてきたこと)  
⇒神辺らしさは大切にしていこう

### 第1回WS 2024.9.8

コミュニケーションの場（自己紹介）、神辺の自慢、  
おすすめの過ごし方について意見交換

### 第2回WS 2024.10.6

神辺のまちの未来の姿（やってみたいこと）、地図  
への落とし込み、雲南市事例紹介

### 第2回協議会 2024.11.28

議題：ビジョンイラスト（ラフ画）に対する意見

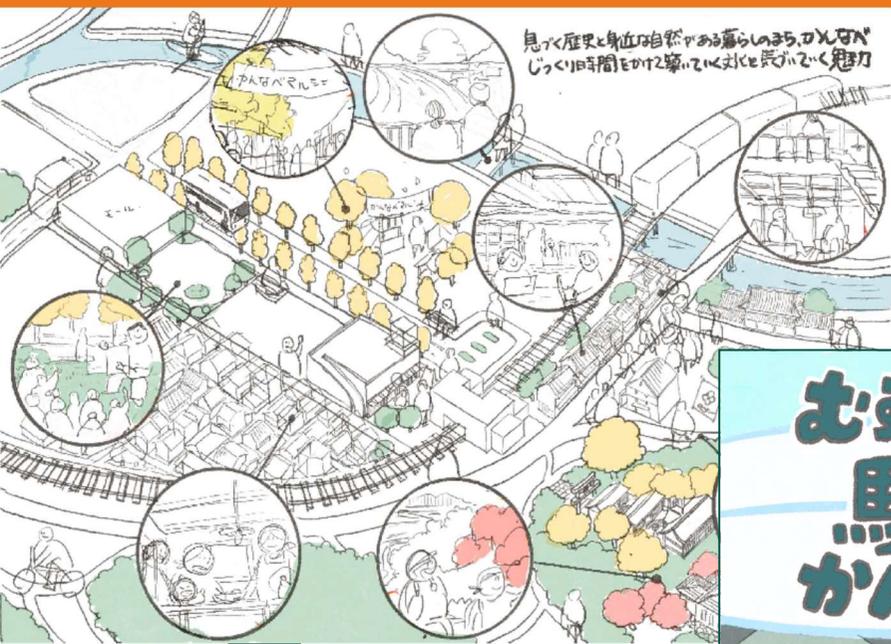
### 第3回WS 2024.12.15

ビジョンイラストラフ画に対する意見交換、  
キャッチコピー検討

### 第3回協議会 2025.2.27



# ビジョン説明



見やく歴史と身近な自然がある暮らしのまち。かんぽ  
じっくり時間をかけた暮らし。これにたいして長びく想ひ

## イラスト



ラフ画



## まちづくりの主体

まちづくりの推進に当たっては市民・団体や事業者、行政がそれぞれの役割を担い相互に連携し、一体となって取り組んでいく必要があります。

役割	市民・団体	自分たちのまちを自分たちでつくるという思いを持ち主体的にまちづくりに参画する
	事業者	パブリックマインド（公共精神）を持ち、事業活動を行う
	行政	まちのにぎわいに向け関係機関・部署が連携して市民・団体や事業者をサポートする環境をつくる



## みんなの意見

**意見が出た場** 神辺駅周辺のにぎわい創出協議会 かなべ未来会議 地域のイベント [かなべ福祉まつり、廉塾まつり、動く江戸空間、かなべストリートフェスティバル]

### 神辺の魅力自慢

豊かな自然が近い、古い町並み、地域のつながり、人柄が良い、歴史文化資源が残っている、商工団体が存在する、ものづくり企業が多い、駅の雰囲気が良い、生活に便利なものがそろそろ、静か（のどか）な街の雰囲気、夕日がきれい、偉人（菅茶山、葛原勾当、葛原しげる、箱田良助など）を輩出、交通の利便性が良い、人口が増えている、こどもが多い

### 思い描き 自ら動く めざすまち

#### 出合い

- ・ eスポーツ<sup>1</sup>や劇場など新たな分野の複合施設をつくり、偏後地域の異文化交流の拠点にしたい
- ・ 様々な人がイベントを開催しやすい公園をつくり、チャレンジする人が増えいつでも新しい発見や出合いがあるまちにしたい
- ・ 歴史文化、産業について学び直すために、令和廉塾をつくり神辺や周辺の住民が連携できるまちにしたい

#### 観光

- ・ 古民家を改修してゲストハウス等とし、宿場町が体験でき、建築物を保存し後世に伝えていけるまちにしたい
- ・ 周遊型謎解きゲームをつくり、歴史や魅力を発信し大人からこどもまで訪れるまちにしたい
- ・ 駅前の通りに観光名所となる街路樹を植え多くの人々が訪れるまちにしたい
- ・ 観光バスが立ち寄れる拠点やまち歩きマップなどを作成し、観光客が増え住民にとって誇れるまちにしたい
- ・ 高屋川と神辺駅周辺をつなぐウォーキングロードをつくり自然を感じながら体を動かし観光できるまちにしたい
- ・ 古墳などの遺跡をガイドし、弥生時代から現代までの歴史に触れてもらうことで心豊かになるまちにしたい
- ・ 神辺駅周辺にイベントができる場所をつくることで徒歩を移動手段とする人が増え町並みを楽しめるまちにしたい
- ・ 歴史的な町並みを生かし歩いて楽しめるまちにしたい

#### 暮らし

- ・ 衣食住の利便性に特化し安心して子育てができるまちにしたい
- ・ 井原鉄道の終点駅としてお店のある駅にすることでこども連れでも楽しめるまちにしたい
- ・ こどもの遊び場をつくり若い人が住みやすいまちにしたい
- ・ 古民家を改修し、福山駅前とは違いビジネス本位でなく生活者が出歩くまちにしたい
- ・ 歴史ストリートをつくり、まちに学生やこどもが増えチャレンジ・夢が実現できるまちにしたい
- ・ 妊婦さんに過ごしやすさの提案と赤ちゃんの交流の場をつくり、共に助け合いみんながつながったまちにしたい
- ・ 図書館やカフェ、公園が併設された施設をつくり老若男女が集え、暮らしやすいまちにしたい
- ・ 世代関係なく集まれるBarのような喫茶店をつくり、色々な世代と交流でき、協力し合えるまちにしたい



かなべ  
にぎわい  
ビジョン  
2024

ご協力ありがとうございました！

「かなべにぎわいビジョン2024」は、かなべ未来会議に参加いただいたみなさんと神辺駅周辺のにぎわい創出協議会のみなさん、地域のお声をとりまとめ一緒に作りました。



お問合せ先

福山市神辺地域振興課  
kannabe-chiikishinkou  
@city.fukuyama.hiroshima.jp  
084-962-5026

福山市神辺建設産業課  
川南まちづくり担当  
kawaminami-machi  
@city.fukuyama.hiroshima.jp  
084-962-5021

えき  
むすびの驛かなべ

かなべでむすぶ

新たな未来

神辺らしさを大切に  
新たな活動や空間を産み  
人が出歩き行き交う  
訪れる人も暮らす人も  
幸せを感じるまち  
「むすびの驛かなべ」  
ヒト・モノ・コトが集い結ばれ  
笑顔あふれにぎわう未来へ  
みんなの一步を応援する旗印

※1 エレクトロニック・スポーツの略で、広義には電子機器を用いて行う娯楽、競技、スポーツ全般を指す言葉であり、コンピューターゲーム、ビデオゲームを使った対戦をスポーツ競技として捉える際の名称

# むすびの 馬車 かなべ



## かなべにぎわいビジョン2024とは？

川南地区の社会基盤整備や地域の主体的な取り組みで、まちが動き始めた神辺駅周辺における魅力や地域の活動、これからやりたいことなどを描きました。今後、新しい活動や空間が産まれることで、イラスト以上に笑顔があふれ、にぎわうことをめざします。

**何のためにつくったの？**  
まちづくりに関わる人を増やし、地域が主役となったまちづくりが進むことを目的としています。

**何年後の姿？**  
おおむね10年後を目安としています。

**どこが対象？**  
神辺町全域が対象ですが、まずは神辺駅周辺から広がっていくため、神辺駅から半径1 km程度を主に描いています。

## 「むすびの驛（えき）かなべ」

に込められた想い/めざすまちの姿  
神辺らしさを生かした活動/空間を産み人が歩み行き交う「めざすまちの姿」や歴史、まちの特色を「むすび」で表しています。また、まちを駅に見立て、訪れる人や暮らす人をつなぎ、こどもから高齢者まで「幸せ」を感じるまちの姿を旧字体の「驛（えき）」で表しています。

## 詳しく

- 歴史の結び  
ヒト・モノ・コトが行き交い結ばれた宿場町の歴史。歴史文化を受け継ぎ次世代につないできた活動。交通の要所/広域エリアのアクセス拠点。
- まちの特色の結び  
神辺駅を挟んで特色の異なるエリアがつながる。神辺町全域や周辺部へにぎわいをつなぎ広げる役割。
- 新しい活動/空間を産す（ひ）  
ヒト・モノ・コトがつながり、結ばれることで新たな活動/空間を産む。

**Point**

- 神辺らしさを大切にしよう
- 歴史文化を生かさそう
- 豊かな自然を生かさそう
- 学び（チャレンジ）の視点を持とう
- 新しいまちに関わろう
- 公共空間を生かさそう

## イラストを詳しく見てみよう！！



神辺駅西口周辺が整備され、屋外スペースにはカフェも。地域の大人からこどもまで、みんなの交流の場に！



地域が進める歴史文化を生かしたまちづくり。八音踊りや廉塾バラの普及活動、神辺遺産の認定。外国人観光客も訪れるまちに！



公園で読み聞かせ。学びの場として活用もでき、触れ合える身近な自然もある。



地域と学生の交流拠点。観光案内やコワーキングスペースとしての活用も。



みんなが利用できるこども食堂。こどもや高齢者などみんなに優しいまち。



古民家を活用した宿泊施設。まち歩きや観光の拠点になり多くの観光客が訪れる。



ウォーキングやサイクリングコースを設定。歴史クイズや夕日の眺めなどみんなで楽しく健康に。



神辺を周遊するバス路線の運行やマルシェの開催。駅周辺以外にも神辺町には自然や地域資源がたくさんある。神辺町全体も見据え、神辺駅周辺がにぎわってくる。

## まだまだあるよ！こんなところ

# その他の取組について

## シンポジウムの開催

実施日：2025年（令和7年）1月22日（水）19時～20時30分

参加者：58人（会場参加47人、オンライン参加11人）

登壇者：講師 西村浩さん（株式会社ワークヴィジョンズ）

トークセッション 西村浩さん、藤井利彦さん（株式会社明和）

藤岡莉沙さん（そらやLandscape）、石井麻美（キタマチDiary編集部）

## まちづくり

- ・それぞれの年代がまちに集うことが第一歩であり、こどもたちがまちづくりに関わることが重要。
- ・将来の当事者を育てる長期的な視点を持つことが大切。
- ・地元の人々が主体となってまちづくりに取り組むことも重要である。

## 取組方法

- ・人口減少時代におけるまちづくりのポイントは「人気のあるまちにすること」  
⇒そのために日常生活の質を高めることが大切
- ・小規模な社会実験を繰り返しながら、失敗を恐れずに改善していく姿勢が必要  
⇒小さな範囲から徐々に拡大していく玉ねぎの皮のような戦法がよい

## トークセッション

まちづくりにおいては、地域の人々が愛着を持てる仕組みづくりが重要。こどもたちが楽しい思い出を作れるまちにすることで、将来的に「帰ってきたいまち」をめざす意識が共有された。



# その他の取組について

## 車座トーク（神辺）の開催

実施日：2025年（令和7年）1月24日（金）19時～20時45分

参加者：13人

### 地域代表者

- ・まちづくりを行う団体はたくさんあるが、一堂に会する機会はなかなかない
- ・神辺駅の東側は、歴史、文化、伝統ある神辺の核心。こうした町並みをどう保存していくかは、住民として考えるべき1つの大事なポイント。
- ・西側は、これからのまちづくりということで、経済、商業、人が集ってくる。人口減少社会でも、神辺がにぎわうような地域になることが望みである。
- ・ハードを作ることは行政の役割のひとつだが、我々の役割はまさにソフトを作ること、心を伝えること。皆さんとともに、神辺のこれからの議論していきたい。

### 市長

- ・議論の視点は神辺駅周辺エリアに限定する必要はない。協議会や未来会議の議論をどんどん広げて行っていただきたい。
- ・地域の拠点づくりの先頭を切って、いい取組を打ち出していただけるように、我々も一緒に汗をかきながら進めていく

詳しくは福山市 地域拠点形成推進課のホームページに掲載してあります。

# その他の取組について

## 未来会議参加者の活動

自分のやりたいことを実行に移してみよう → どうしたらよいのか分からない  
やりたいことの解像度が低いことが一つの要因

### チャレンジする人が集まってくる雲南市の視察

実施日：2025年（令和7年）2月9日（日） 参加者：9人

雲南市チャレンジバレーの説明

ショッピングリハビリやプログラミング教室を立ち上げられた事業者の話を伺う etc

→「チャレンジしてみよう」という意志を尊重する/応援する風土があったことで、やってみたいことを気軽に話せる雰囲気があり多くのプレイヤーが集まる。現在では、お互いにやってみたいことを話し合い実現につなげていく好循環ができてきていた。

### 神辺の観光Map作成の取組

まち歩きマップを作成し観光客が訪れるまちにしたいとの思いを実現する一歩として、マップの作成を未来会議参加者で有志を募り取り組む

マップの目的は？対象は？既存のマップがあるのでは？などを議論し、最初から完璧なものをめざすのではなく、作成過程の情報発信も含めてブラッシュアップする前提とする

今後はまちを歩き、まちで気になったポイントをチェックしマップに載せる候補とする予定

# その他の取組について

## 公共空間の活用

地域密着型情報誌（キタマチDiary）と連携した社会基盤整備が進む川南エリアの情報発信と公共空間の活用を通じて、日常的に利活用される公園になるよう取り組んでいただける方の参画につなげる。

情報発信

座談会

情報発信

マルシェ

第39号  
12月25日発行

1月28日

第40号  
2月25日発行

3月9日

